



セミナーで講演する甲木有紀さん



NPO 法人日本タッチカウンセリング協会



子どもの発達凸凹との 付き合い方は？ 保護者の語り場 「チコすてつぷママ」

でこぼこ

事業概要

子どもの発達凸凹への理解を深めたり、日頃の子育ての悩みを共有できる「語り場」を開催し、保護者同士のネットワークづくりや社会資源を活用するサポートを行います。

助成予定 113,000 円



語り場は、昼食を取りながら明るい雰囲気です。

子どもの成長や発達の違いは人それぞれ。知覚や理解、記憶など知的活動の認知能力は、高い部分と低い部分に差がありますが、特にこの差が大きい人のことを発達凸凹といい、子どもの頃に見過ごされて適切な対応がなされないと、社会に適応するのが難しくなる場合があります。そこで、NPO 法人タッチカウンセリング協会では、保護者が定期的に集まり、自分の思いや子育ての悩みを話し合ったりする場を設けています。それが、「チコすてつぷママ」です。

セミナーでは甲木さんは、発達凸凹がある子どもたちとの付き合い方について分かりやすく解説。「発達凸凹は個性ではあるものの、子育てにあたり一定の配慮があることで、子どもにとってより良い成長につながります」。

セミナー後は語り場を実施。参加者とスタッフがグループに分かれ、子どもとの関わり方や医療、服薬についてなど、発達凸凹の子どもの子育てについて活発な意見が交わされました。中学生の保護者で、家族全員が発達凸凹という参加者の一人は、「学校にもうまく相談できず悩んでいましたが、今日のこの催しでどうすれば生活しやすいか、聞きたいことが聞け、参加してよかった」と話していました。

今年度の語り場は 4 回開催。次回は 9 月 26 日(火)に開催予定です。